

到達目標

- A:十分に理解・経験しておくことが望ましい
- B:概略を理解し、少なからず経験しておくことが望ましい
- C:知っておくことが望ましい

自己評価

- 5:一般的なケースで、自ら判断して実施でき、指導もできるレベル
- 4:基本的な知識を習得し、自ら判断して実施できるレベル
- 3:基本的な病態や状況の把握ができ、指導を受けながら実施できるレベル
- 2:上記に満たないレベル
- 1:評価できない

	到達目標（参考）			自己評価（5段階）			指導医確認 （押印）
	知識	技術 技能	症例	知識	技術 技能	症例	
I. 臨床							
A) 診断力							
1 診断学	B	B	B				
2 診断困難な状況	A	A	B				
B) 症候・病態のマネジメント							
1 全身の症候、病態	A	A	A				
2 循環器系の症候、病態	A	B	A				
3 腎・泌尿器系の症候、病態	A	A	B				
4 呼吸器の症候、病態	A	B	A				
5 消化器の症候、病態	A	C	A				
6 代謝・内分泌の症候、病態	A	A	A				
7 神経・精神系の症候、病態	A	B	B				
8 血液、リンパ系の症候、病態	A	A	B				
9 皮膚の症候、病態	A	B	B				
10 感覚器の症候、病態	B	B	C				
11 痛みに関する症候、病態	A	A	A				
12 外因による症候、病態	C	C	C				
13 その他の症候、症候	C	C	C				
C) 地域包括ケア							
1 地域医療と連携	A	B	A				
2 Social Determinant of Health	A	B	B				
3 コンテクスチュアルマネジメント	A	B	B				
4 在宅医療・介護保険	A	B	A				
5 高齢者のケア	A	A	A				
6 アドバンス・ケア・プランニング	A	B	B				
7 地域における外科的処置が必要とされる疾患	B	C	C				
8 リハビリテーション	B	B	B				
D) ベッドサイドの技術							
1 包括的に診察する力	A	A	A				

到達目標

- A:十分に理解・経験しておくことが望ましい
- B:概略を理解し、少なからず経験しておくことが望ましい
- C:知っておくことが望ましい

自己評価

- 5:一般的なケースで、自ら判断して実施でき、指導もできるレベル
- 4:基本的な知識を習得し、自ら判断して実施できるレベル
- 3:基本的な病態や状況の把握ができ、指導を受けながら実施できるレベル
- 2:上記に満たないレベル
- 1:評価できない

		到達目標（参考）			自己評価（5段階）			指導医確認 （押印）
		知識	技術 技能	症例	知識	技術 技能	症例	
2	POCUS	A	B	B				
3	病歴、身体診察、説明	A	A	A				
4	患者申し送り（Patient handoff）	A	B	A				
5	救急救命処置（緊急処置）	A	A	A				
6	穿刺手技	A	B	B				
7	外科的処置が必要とされる疾患の治療援助	A	A	A				
8	緩和ケア	A	B	B				
9	栄養療法（Nutrition and hospitalized patients）	A	A	B				
10	輸液	A	A	A				
11	生活習慣病対策・がん早期発見	A	A	A				
12	感染制御	A	B	A				
13	ワクチン	A	B	B				
14	メンタルヘルス	A	B	B				
15	災害医療	B	B	C				
II. 病院管理・ソーシャルスキル・教育・研究								
A) 病院管理・ソーシャルスキル								
1	リーダーシップ	A	B	A				
2	マネジメントの実践（Management practice）	A	A	B				
3	医療経営	B	C	C				
4	患者の安全	A	A	A				
5	リスクマネジメント	B	B	B				
6	医療の質改善（Quality improvement）	B	B	B				
7	情報管理	B	B	B				
8	IT化	B	B	C				
9	EBM（臨床疫学とEBM）	A	B	A				
10	医療資源の適切な割り当て	B	B	B				
11	保険診療	A	B	A				
12	法令の理解と遵守	A	B	B				
13	地域医療連携	A	A	A				

到達目標

- A:十分に理解・経験しておくことが望ましい
- B:概略を理解し、少なからず経験しておくことが望ましい
- C:知っておくことが望ましい

自己評価

- 5:一般的なケースで、自ら判断して実施でき、指導もできるレベル
- 4:基本的な知識を習得し、自ら判断して実施できるレベル
- 3:基本的な病態や状況の把握ができ、指導を受けながら実施できるレベル
- 2:上記に満たないレベル
- 1:評価できない

	到達目標 (参考)	自己評価 (5段階)			指導医確認 (押印)		
		知識	技術技能	症例			
14	タスクシフティング	B	B	C			
15	コミュニケーション	A	A	A			
16	シェアードディシジョンメイキング (SDM) と意思決定支援	A	B	B			
17	専門医との連携	A	A	A			
18	コンサルテーションと協働 (Comanagement)	A	A	A			
19	薬剤管理	C	C	C			
B) 教育							
1	Evidence-based medical educationの実践	B	B	B			
2	全人的医療の姿 (General mind) を持たせるための教育	B	B	B			
3	ロールモデル	A	B	B			
4	教育者の育成 (FD)	B	B	C			
5	教育者体制の構築	B	B	C			
6	Common diseases/急性期診療の専攻医・研修医への指導	C	C	C			
7	コーチング	A	B	B			
8	他職種/市民/患者への教育	B	B	C			
9	継続学習/自己研鑽能力	A	A	A			
10	後輩・後進の育成	A	A	B			
11	プロフェッショナルリズムと医療倫理	A	A	A			
C) 研究							
1	臨床研究	B	B	B			
2	研究論文執筆と指導	B	B	C			
3	症例報告執筆と指導	A	A	B			
4	治験	C	C	C			
5	国際学会発表、国内学会発表、症例、研究	C	C	C			
6	クリティカルリーディング	B	B	B			
7	語学力 (英語論文執筆)	B	B	B			
8	医療統計学	B	B	B			